

被災者のみなさまへ



政府広報

世界の国々から岩手県、宮城県、福島県の

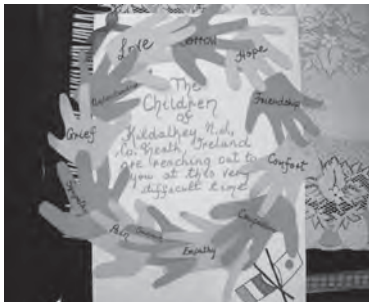
子どもたちへ

みなさんは、「政府」って何のためにあるか、ご存じですか？ この社会をより良いものにして、みなさん子どもたちの世代に引き継ぐために、あるのです。けれど今度の大地震で、引き継ぐはずだったいろいろなものが、失われてしまいました。…それでも、あなたも、お友達も、周りの大人たちも、負けません。学校も、市町村も県も国も、負けません。

そんなみなさんを激励しようと、世界中のあちこちでも、本当に多くの子どもたちが、何とかしなくちゃ、と動き出してくれています。

もうすぐ5月5日、子どもの日。地球は今、TOHOKU(東北)の子どもたちへの応援団でいっぱいです！

平成23年(2011年)5月2日



アイルランドより



ルーマニアより



ロシアより

アメリカ合衆国

がっしゅうこく
仙台出身でニューヨーク在住の作曲家、にしな・あや氏が呼びかけ、レコード会社社長のジョン・ゾーン氏が発起人となり、大規模なチャリティコンサートが開かれました。オノ・ヨーコ、ショーン・レノン、坂本龍一などのアーティストが参加しました。



ニュージーランド

被災者に対し、ニュージーランドでのホームステイ先や宿泊先を提供する「Time out in New Zealand」プロジェクトが立ち上がっています。

ブラジル連邦共和国

れんぽう きょうわこく
ジーコ氏が、ブラジルサッカー協会や地元チームと協力し、サッカー義援金親善試合を開きました。



セルビア共和国

被災者をなぐさめるための集会が開かれ、日の丸をイメージした紅白の服を着た市民が数百人集まり、千羽鶴などを折りました。



キルギス共和国

哀悼の意を表すため、花束を手に多くの市民が日本大使館前を訪れました。



大韓民国

済州の金寧小学校の生徒がかかげる横断幕には「日本の友だち! がんばって」の文字。日本総領事館がおこなった文化紹介行事では、七夕飾りの短冊に1日も早い復旧への祈りがつづられました。



ロシア連邦

サンクトペテルブルク市の日露修好150周年記念碑の前で、子どもたちが折り鶴を込めて、碑の周りに折り鶴を供えました。

アメリカ合衆国

ニューヨークの日本総領事館に届けられたメッセージの一部。アメリカのテレビで放映中の、日本からの感謝を伝える特別CMにも使用されています。



アイルランド

ダブリン市内では、子どもたちが自宅前の歩道にテーブルを出して手作りのクッキーを売り、被災者のための募金活動をおこなっていました。



アフガニスタン・イスラム共和国

パルミヤンの若者たちが、日本の惨事について悲しみを共有するなどの決議を採択しました。「私たちは貧しいです。でも、日本に助けの手を差し伸べようとする気持ちでは負けません」。



モロッコ王国

2004年2月にマグニチュード6.5の地震があり、日本から国際緊急援助隊救助チームや緊急援助物資がおくれたアル・ホセイマ市。地元の小中学生8人が、被災した子どもをはげます絵を現地のユニセフ事務所に託しました。



エジプト・アラブ共和国

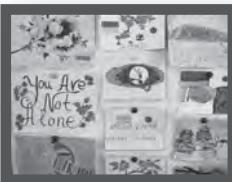
日本へのお見舞いを目的とした行進に小学生が参加しました。



南アフリカ共和国

日本大使館に届いたメッセージの一部。

絵はがきがたくさん来ました (ウクライナ)



手作りの作品です (カンボジア)



みんなで日本を想って寄せ書き (パキスタン)



トモダチ想って絵はがき (ブルガリア)



折り鶴できたよ (オマーン)



がんばれ日本、みんなで行進 (エジプト)



中華人民共和国

煙台市少年合唱団が募金活動をおこないました。



パキスタン・イスラム共和国

サラセミア(地中海性貧血)をわずらう40人の子ども(9歳~15歳)が日本総領事館を訪問。お見舞いとほげましのメッセージとともに、サッカーボール10個がおくられました。代表は「サラセミアに苦しんでいる子どもたちは真剣に日本の子どもたちのことを心配しています。少しでも心の苦しみが消えればと、サッカーボールをおくります」と述べました。



オーストラリア連邦

メリチカレッジスクール(女子中学・高校)の生徒が、日本の復興を願い、300個の風船を飛ばしました。



We are with YOU!
—わたしたちは“TOHOKU”とともに—

メキシコ合衆国

日本大使館で記帳した大統領令嬢。「日本のことを常に祈っています。できることがあれば、日本の兄弟であるメキシコ国民に遠慮なく声をかけてください」。



ブラジル連邦共和国

とても貧しい地域の子どもたちが小銭を持ち寄り、空缶に募金しました。「ブラジルは日本の友だちです。わずかですが被災者のために役立ててほしいです」。



ウルグアイ東方共和国

ウルグアイには、親しい友人をそっと抱きしめてなぐさめる習慣があります。同じように日本を抱きしめてなぐさめようと、小学生150名が日本大使館の周りを手をつないで囲みました。

